

「ネット社会に対する意識と展望に関する調査結果について」

- およそ8割のユーザーが情報漏洩やウイルス感染に不安を感じる一方、
今後の医療・福祉分野などの充実を期待する声が高まる -

株式会社情報通信総合研究所(東京都中央区日本橋人形町2-14-10、代表取締役社長:藤田 潔)ではこの度、「ネット社会に対する意識と展望」に関する調査を実施いたしました。現在、インターネットは私たちの生活に浸透し、その用途も多様化すると共に、インターネットを取り巻く様々な問題が発生してきています。こうした問題を解決し、安心・安全なネット利用を考えるプロジェクトの一貫として、ネット社会に対する「不安」、「メリット」、「今後の期待」を浮き彫りにするためのアンケートを実施いたしました。主な調査結果は以下のとおりです。

調査結果のポイント

1. ネット社会に対する不安

- 不安を感じるのは、「ウイルス」(78.3%)「個人情報の流出」(78.2%)「ハッカー」(61.2%)。それ以外に、ユーザー層別ではネット初心者はインターネットを「使いこなせない」、不安が高く、ヘビーユーザーは「ハードやネットワーク故障で生活に支障」への不安も高い

ウイルス、個人情報の流出、ハッカーに対する不安は、全ユーザータイプ共に(分類方法については図表2参照)大きく感じている。それ以外では、ネット初心者はインターネットを「使いこなせない」不安、ヘビーユーザーは「ハードやネットワーク故障で生活に支障」への不安も高い。また、インターネットの利用全体に対しては、「非常に安心感がある」、「やや安心感がある」ユーザーが全体の18.7%であったことに対して、「非常に不安を感じる」、「やや不安を感じる」と答えたユーザーはほぼ2倍の34.5%であった。(図表1、2)

- 不安を最も感じる具体的な利用シーンは、コマース・コミュニティ関連サービス。しかし、利用をやめたユーザーは少数に留まる

最も不安を感じることの多い利用シーンは、オンラインショッピングやネットバンキング、オークションなどのコマース関連サービスであった。次に不安の多かった利用シーンはBBSやチャットなどのコミュニティ関連サービスである。ただし、不安が高いにも関わらずサービスの利用をやめたユーザーは少数に留まる。(図表3)

- 「ウイルス」、「個人情報の流出」、「ハッカー」への不安は今後更に高まる

今後より不安が高まるものは、「ウイルス」「個人情報の流出」「ハッカー」など。特に、今後の不安は新人ユーザーの方がベテランユーザーに比べて大きく、インターネット初心者に対する対策が求められる。(図表4、5)

2. ネット社会に対するメリット

- 感じるメリットは、「知識が増える」(84.9%)「楽しい」(76.5%)「視野が広がる」(69.5%)

ヘビーユーザーの方がライトユーザーに比べてメリットを大きく感じている。反面、「社会的になった」、「自己主張ができるようになった」、「癒される」、「一体感を感じる」とのメリット感はあまり見られなかった。(図表6、7)

3. 今後のネット社会に対する期待

- 「就業機会の増加」や「医療・福祉の充実」など社会公共的な充実への期待が高まる。

今後のネット社会の進展に期待することは「就業機会の増加」や「医療・福祉サービスの充実」、実現すると思うものは「商品やサービスをその場で購入」や「新たな娯楽」が上位となり、期待することと実現すると思うものに差が見られた。また、昨年の調査と比べて、期待と共に実現すると思う割合も増加している。(図表8)

調査概要

- (1) 調査名 「ネット社会に対する意識と展望に関する調査」
- (2) 調査方法 ウェブ・アンケート調査
(株)情報通信総合研究所が企画運営するマーケティング・サイト「MIN」上で実施
- (3) 調査期間 2004年2月10日(火)～2月16日(月)
- (4) 有効回答者数 7,095名

*本調査では、インターネット利用について、原則として自宅又は個人的な利用(会社等で仕事で利用したり、学校の授業で利用したりする場合を除いて、私的に利用する場合)について回答していただきました。

*インターネット接続回線については、ADSL、CATVインターネット、光回線、固定無線インターネットをブロードバンドと定義しました。

株式会社情報通信総合研究所の概要

1985年6月に、国内外の情報通信に関する調査・研究を専門とするシンクタンクとして設立されました。固定通信や移動通信、インターネット・IT、通信と放送の融合から地域の情報化まで、情報通信の広範な分野にわたる調査研究、コンサルティング、マーケティング、出版事業などの活動を展開しております。

本プロジェクトの概要

本プロジェクトは、「ネット社会の未来を考える」をテーマに、ネット社会の「影」の問題を含む基本的な問題について調査研究を行い、ネット社会の健全な発展に寄与することを目的とするものです。現在までの主な活動の詳細は弊社ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.icr.co.jp/crisis/>

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 情報通信総合研究所
情報流通ビジネス研究グループ

土屋、中沢

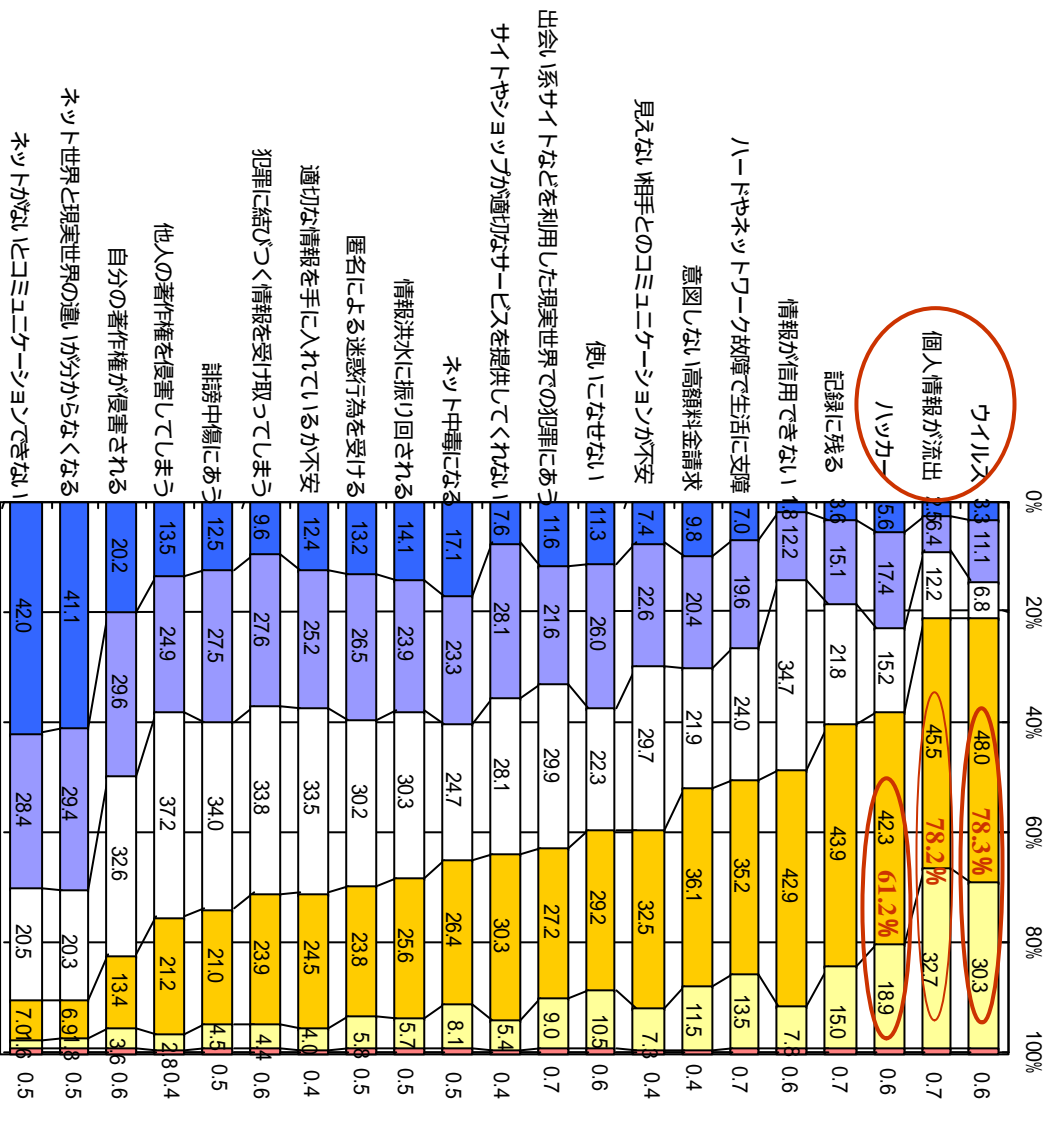
TEL 03-3663-7153

E-mail tsuchiya@icr.co.jp

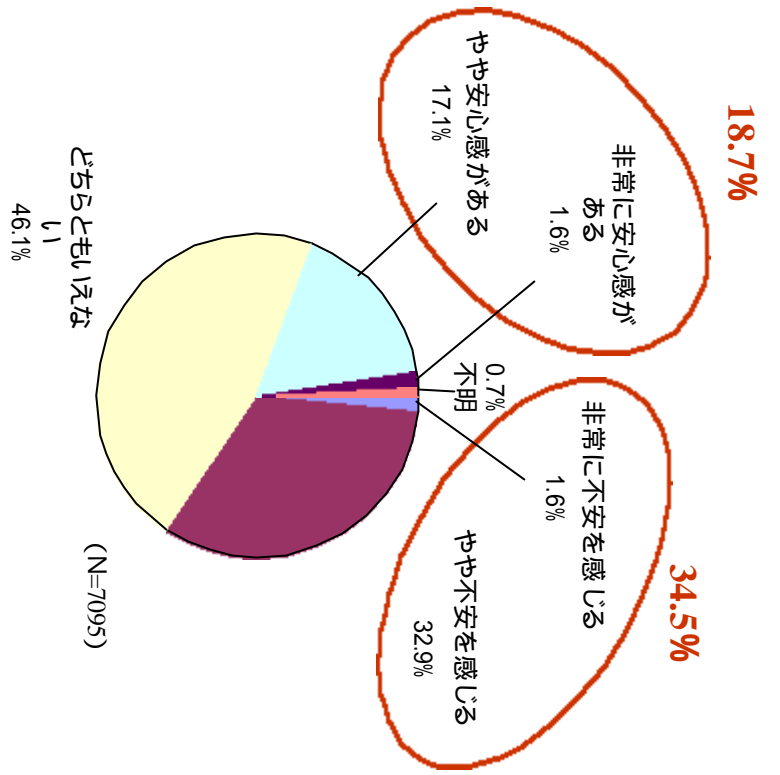
nakazawa@icr.co.jp

図表1. ネット社会に対する不安

<インターネットで不安に感じること>



<ネット社会に対する不安(全体)>



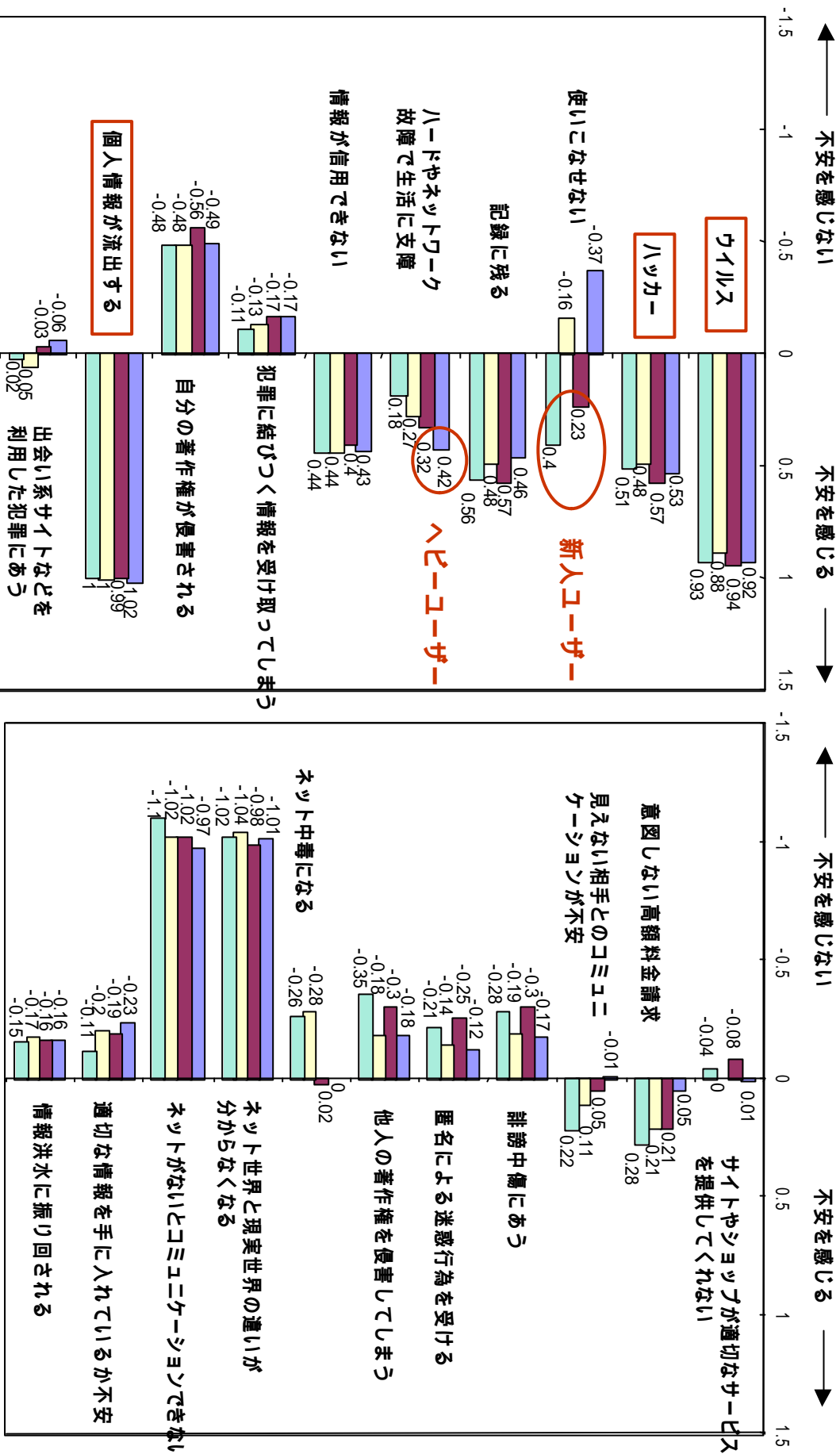
(N=7095)

(N=7095)

図表2. ネット社会に対する不安（ユーザー層別）

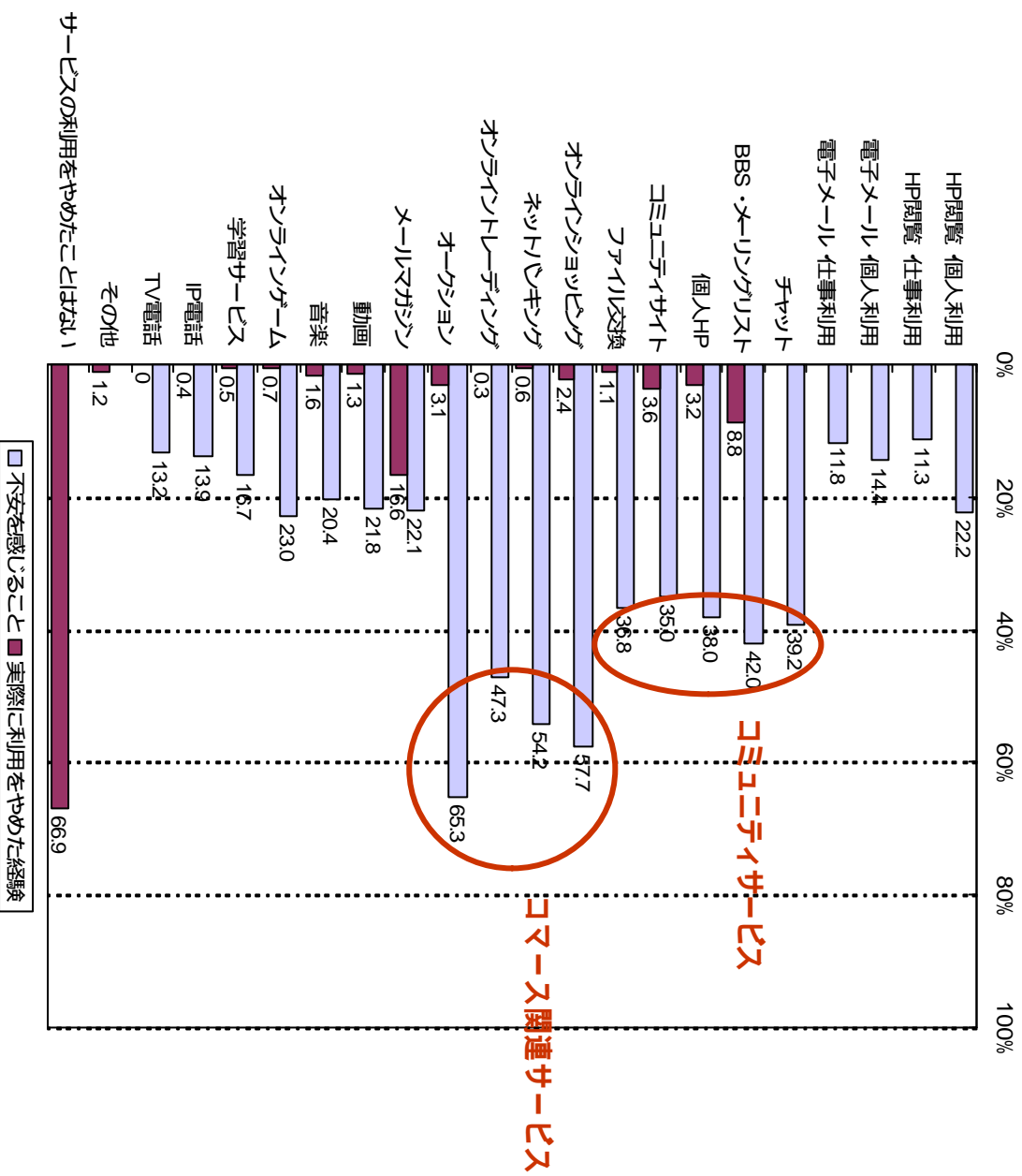
・ネットを感じる度合いを-2～+2の5段階スケールで評価したもの
 ・ユーザーのインターネット利用開始時期の平均を2000年とし、それ以前からのユーザーをベテランユーザー、それ以降からのユーザーを新人ユーザーとした。
 また、インターネット接続時間の平均を10時間/週とし、それ以下のユーザーをライトユーザー、それ以上のユーザーをヘビーユーザーとした。

<インターネットを~~して~~いて不安に感じる<ユーザータイプ別>



図表3. ネット社会に対する不安（不安を感じるシーン）

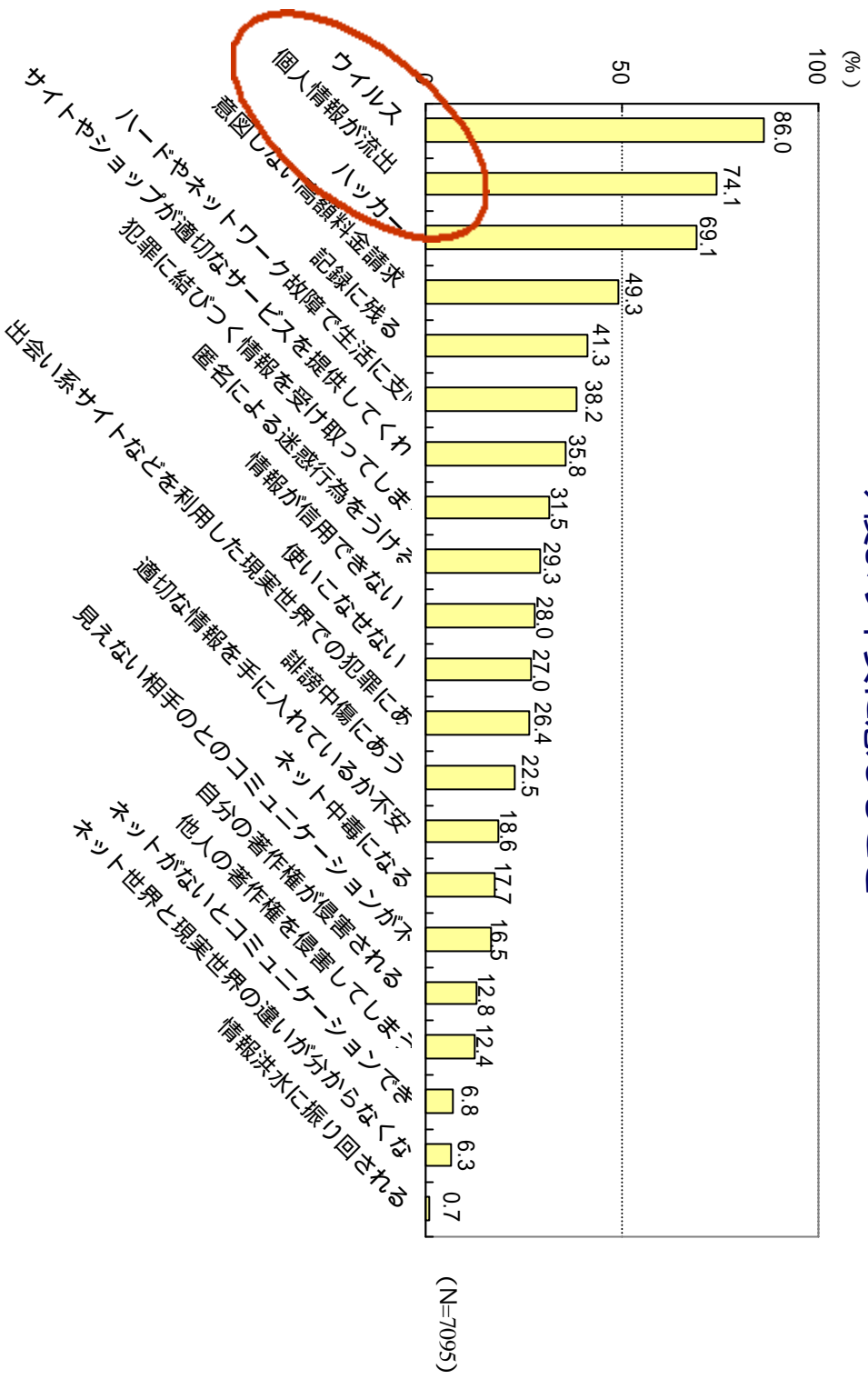
< 不安を感じるシーンと、実際に利用をやめた経験 >



(N=7095)

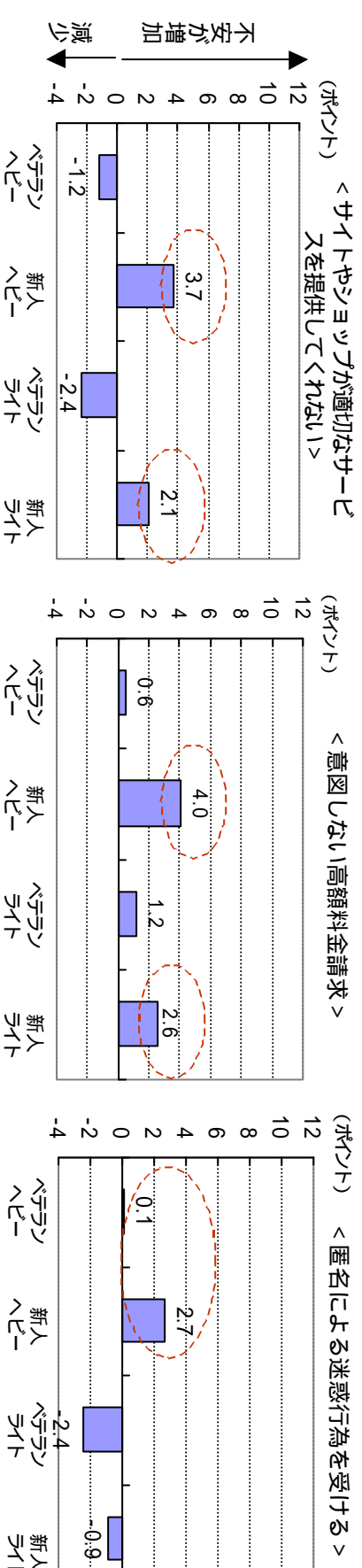
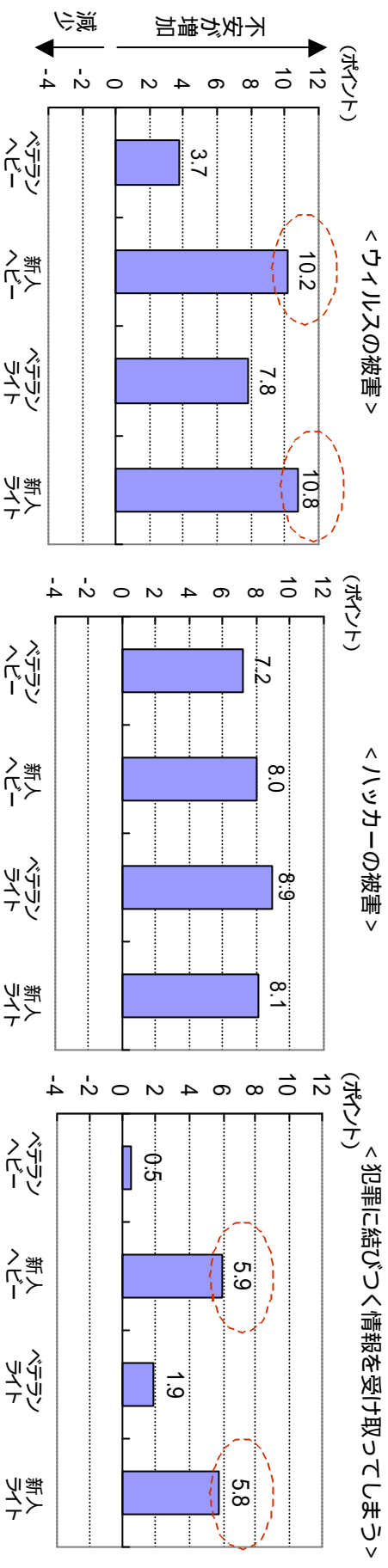
図表4. ネット社会に対する不安（今後高まる不安）

< 今後より不安に感じる事 >



図表5. ネット社会に対する不安（今後高まる不安）

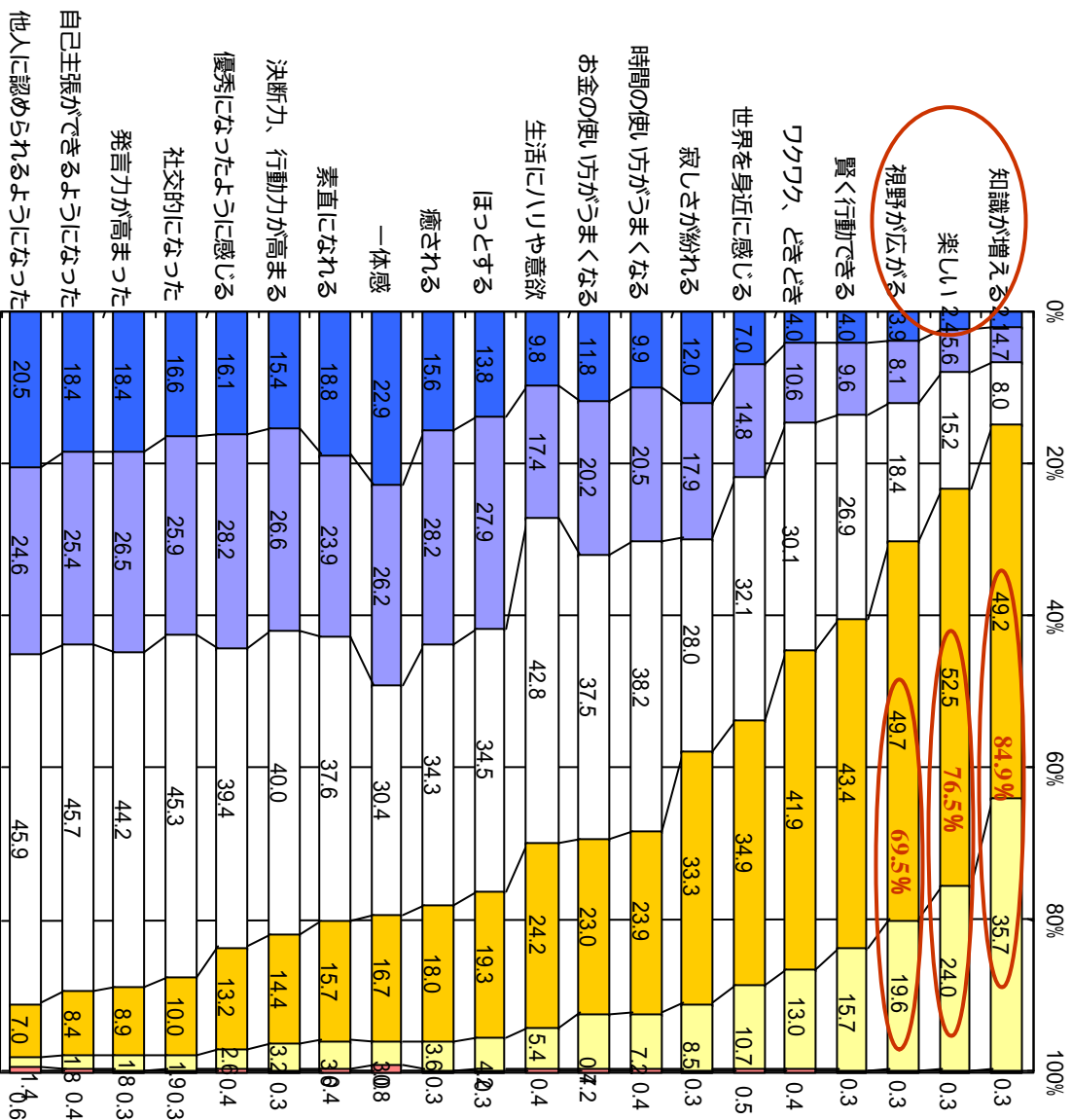
< 現在より不安に感じること（現在の差分）/ユーザータイプ別 >



ベテランムビー (n=1803)、新人ムビー (n=1319)、ベテランライト (n=1852)、新人ライト (n=1899)

図表6. インターネットのメリット

< インターネットのメリット >



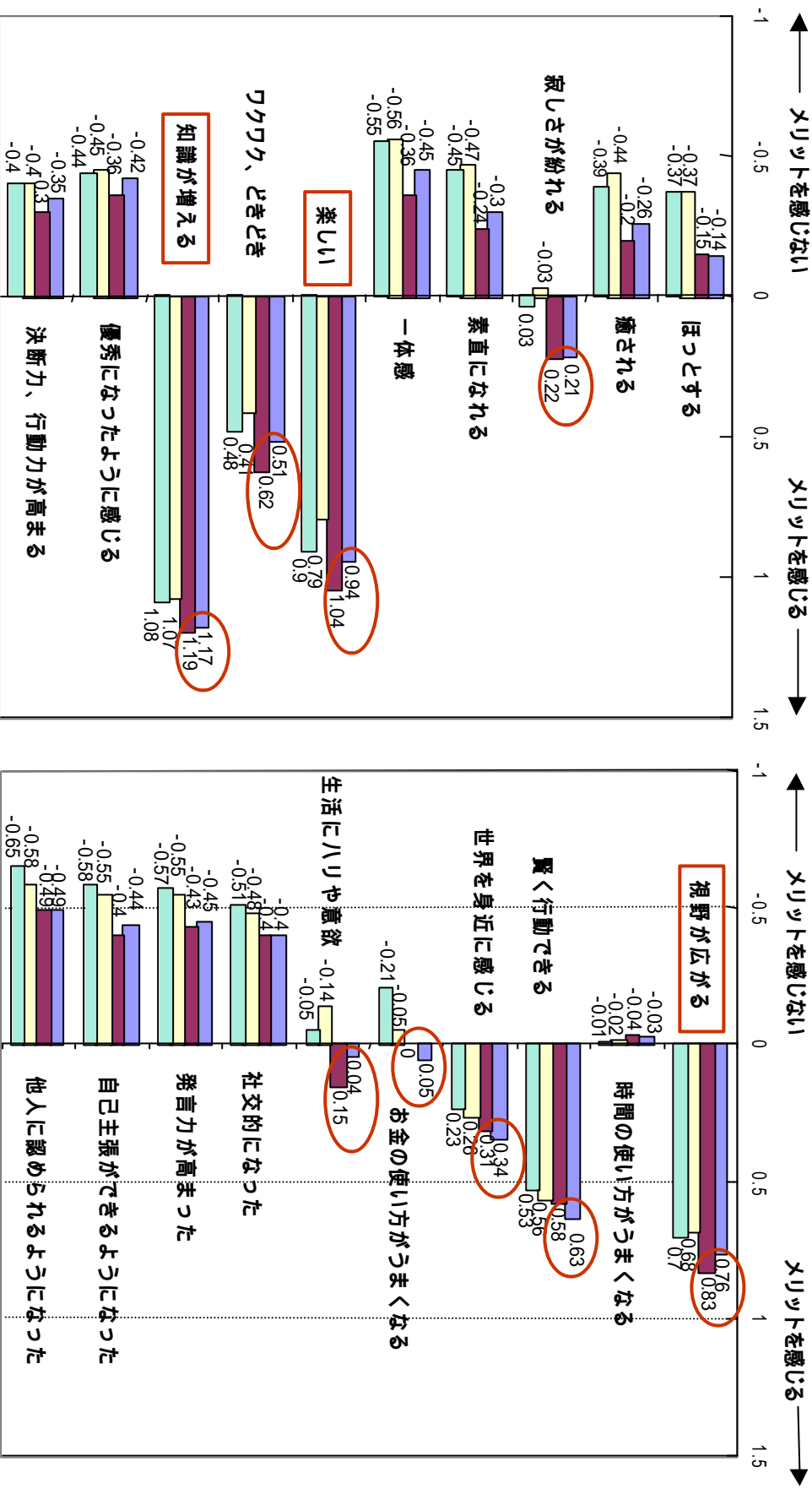
■ 全く感じない □ あまり感じない □ 少し感じる □ 非常に感じる □ 不明

(N=7095)

図表7.インターネットのメリット（ユーザー層別）

・メリットを感じる度合いを-2～+2の5段階スケールで評価したもの
 ・ユーザーのインターネット利用開始時期の平均を2000年とし、それ以前からのユーザーをベテランユーザー、それ以降からのユーザーを新人ユーザーとした。
 ・また、インターネット接続時間の平均を10時間/週とし、それ以下のユーザーをライトユーザー、それ以上のユーザーをヘビーユーザーとした。

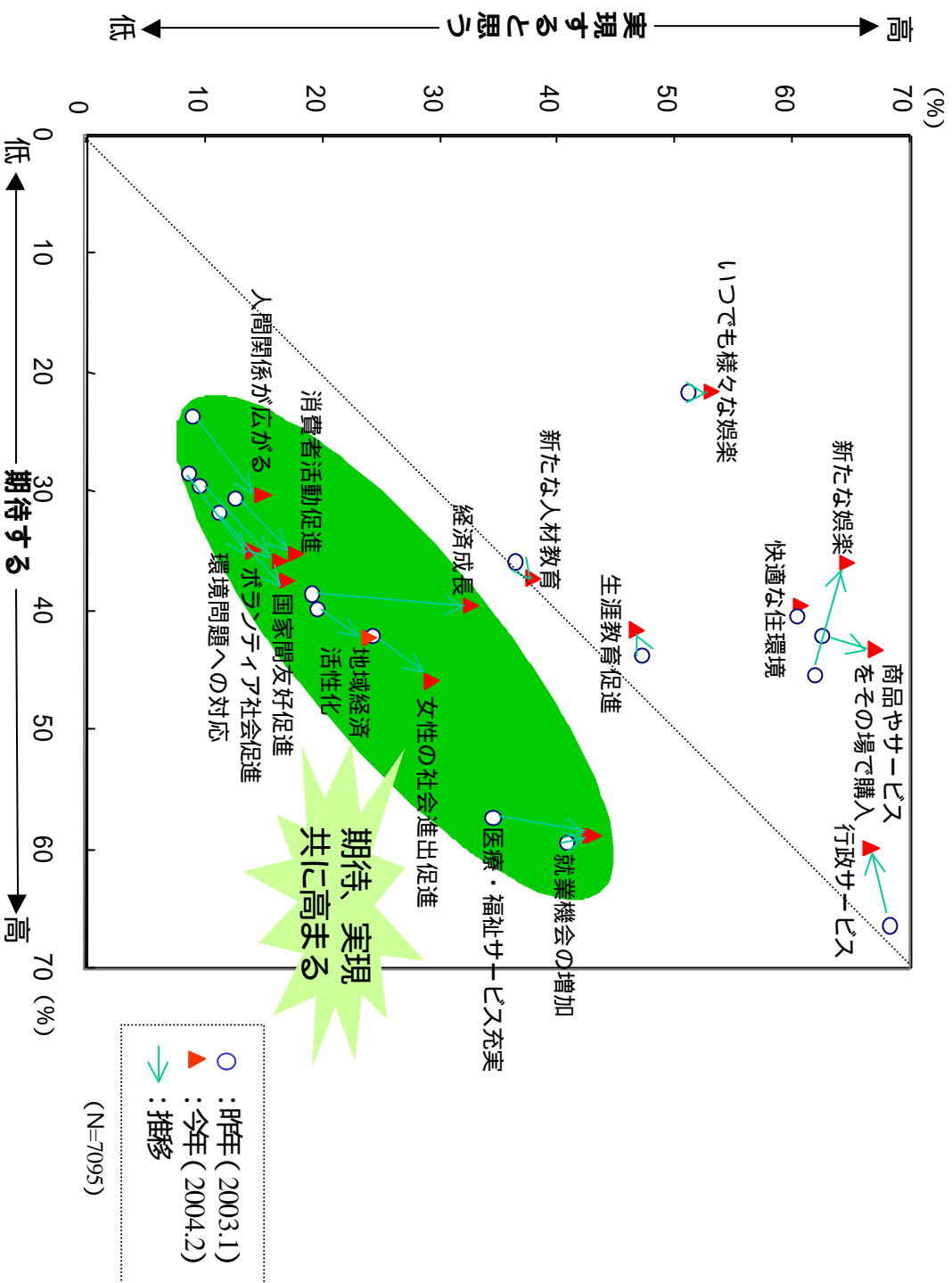
＜インターネット利用において感じるメリット/ユーザータイプ別＞



■ ヘビーユーザー (N=1803) ■ 新人ユーザー (N=1319) ■ ベテランユーザー (N=1852) ■ 新人ライトユーザー (N=1899)

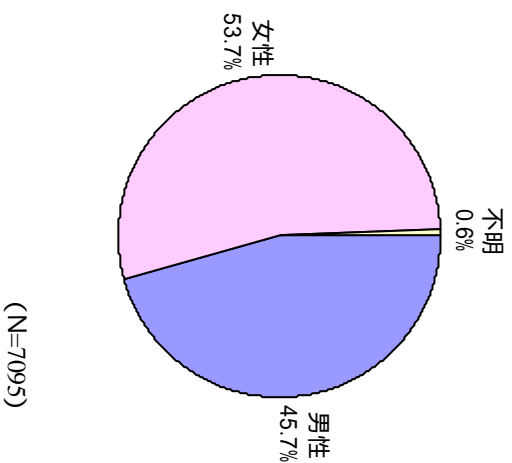
図表8. 今後のネット社会の展望

< ネット社会の進展によって期待すること/実現すると思うこと(昨年からの推移) >

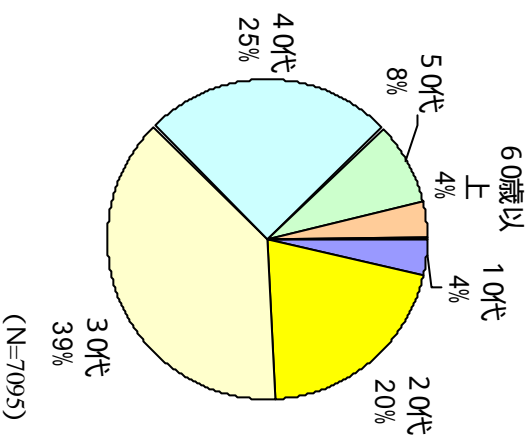


図表9. 回答者のプロフィール

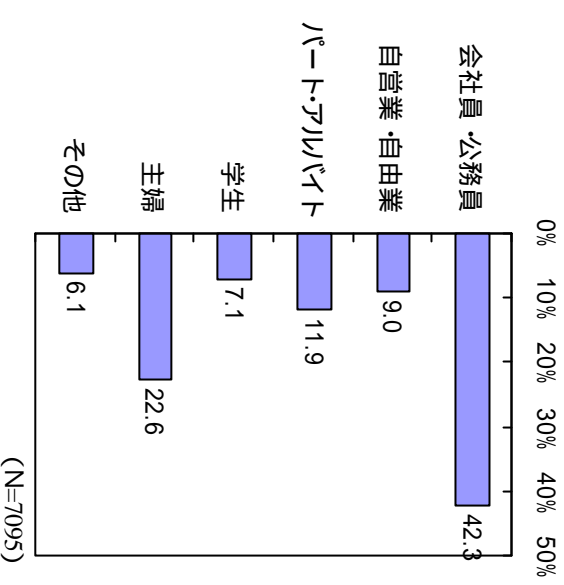
< 性別 >



< 年齢 >



< 職業 >



< 自宅で利用しているインターネット回線 >

